

開催候補地選定の評価項目及び評価の方法

1 評価項目

No.	項目	評価	(参考) 第1回選定基準との関連性	
《1 基本要件》				
(1) 開催時(令和8年)に確実に使用できること				
①	開催時(令和8年)に確実に使用できること。	日程調整や使用期間の制限がなく、問題なく開催が可能。	◎	1-(1)
		日程調整や使用期間の制限が少なく、開催が可能。	○	
		日程調整や使用期間の制限が多くあり、調整を行う必要がある。	△	
		日程調整や使用期間の制限があり、調整が難しい。	×	
②	開催日や準備期間における一般利用者への影響	一般利用者との棲み分けができるため、利用者への影響がない。	◎	1-(1)
		一般利用者との棲み分けができるため、利用者への影響は少ない。	○	
		一般利用者との棲み分けが難しく、利用者への影響が大きい。	△	
		一般利用者との棲み分けができないため、利用者への影響が非常に大きい。	×	
③	公有地・公有施設	公有地又は公有施設であり、管理者の全面的な協力を得られる。	◎	1-(1)
		公有地又は公有施設であり、管理者の協力を得られる。	○	
		公有地又は公有施設でないが、管理者の協力が得られることが確実である。	△	
		公有地又は公有施設でなく、管理者の協力を得る必要がある。	×	
(2) 既存施設の有効活用・開催経費の縮減				
①	式典会場	用地造成や施設整備等を要しない。(経費は不要)	◎	1-(2) 1-(5)
		一部、用地造成や施設整備等を要する。(ほぼ経費は不要)	○	
		用地造成や施設整備等を要する。(一定の経費が必要)	△	
		全面的な用地造成や施設整備等を要する。(多額の経費が必要)	×	
②	おもてなし広場	用地造成や施設整備等を要しない。(経費は不要)	◎	1-(2) 1-(5)
		一部、用地造成や施設整備等を要する。(ほぼ経費は不要)	○	
		用地造成や施設整備等を要する。(一定の経費が必要)	△	
		全面的な用地造成や施設整備等を要する。(多額の経費が必要)	×	
(3) 式典運営が可能な会場施設				
①	式典会場	概ね5,000人以上の開催規模に対応でき、運営上支障がない。	◎	1-(3)
		概ね5,000人以上の開催規模に対応できるが、席場や機材等の配備に制約がある。	○	
		席場や機材等を配備に制約があり、開催規模を縮小する可能性がある。	△	
		席場や機材等を配備に制約があり、開催規模を縮小せざるを得ない。	×	
②	おもてなし広場	開催規模に対応できる物産提供スペースや休憩所等を設置でき、運営上、支障がない。	◎	1-(3)
		物産提供スペースや休憩所等の設置に制約があるが、運営上、大きな支障はない。	○	
		物産提供スペースや休憩所等の設置に制約があり、運営上、支障がある。	△	
		物産提供スペースや休憩所等の設置に制約があり、運営上、大きな支障がある。	×	
③	植樹会場	施設内に植樹が可能で、周辺環境にも影響がなく、森林としての管理が可能。	◎	1-(3)
		施設内に植樹が可能だが、周辺環境に影響がある。	○	
		施設内に植樹が可能だが、周辺環境に影響が大きく、森林としての管理が難しい。	△	
		施設内に植樹ができない。	×	

No.	項目	評価	(参考) 第1回選定基準との関連性	
(4) 会場への良好なアクセス				
①	宿泊地から会場へのアクセス状況 (移動手段・移動時間)	会場から宿泊地まで30分以内に到着できる。	◎	1-(4)
		会場から宿泊地まで1時間以内に到着できる。	○	
		会場から宿泊地まで1時間30分以内に到着できる。	△	
		会場から宿泊地まで1時間30分以上かかる。	×	
②	最寄ICから会場までのアクセス状況 (車での移動時間)	30分以内に到着できる。	◎	1-(4)
		1時間以内に到着できる。	○	
		1時間30分以内に到着できる。	△	
		1時間30分以上かかる。	×	
③	最寄の主要駅から会場までのアクセス状況 (移動手段・移動時間)	大型バスで30分以内に到着できる。	◎	1-(4)
		大型バスで1時間以内に到着できる。	○	
		大型バスで1時間30分以内に到着できる。	△	
		大型バスで1時間30分以上かかる。	×	
④	大型バス通行の可否	大型バスの通行上支障となる区間がない。	◎	1-(4)
		大型バスの通行上支障となる区間が一部あり、迂回する必要がある。	○	
		大型バスの通行上支障となる区間が多くあり、迂回する必要がある。	△	
		大型バスの通行上支障となる区間が多くあり、迂回が困難。	×	
⑤	災害時等に備えた迂回路等の有無	迂回路が3カ所以上ある。	◎	1-(4)
		迂回路が2カ所ある。	○	
		迂回路が1カ所ある。	△	
		迂回路はない。	×	
(5) 荒天時の会場確保				
①	荒天会場の確保	近隣に1,500人以上収容できる荒天会場を確保できる。	◎	1-(6)
		近隣に荒天会場を確保できるが、収容規模に制約がある。	○	
		荒天会場を確保できるが、収容規模に制約がある。	△	
		荒天会場の確保が難しい。	×	
(6) 安全・安心な式典開催				
①	式典会場及び会場周辺の警備体制	会場エリアとの分離が可能で、会場内及び会場周辺に警備上の支障となる要因がない。	◎	委員要望
		会場エリアとの分離が可能で、会場内及び会場周辺に警備上の支障となる要因が少ない。	○	
		会場エリアとの分離が難しく、会場内及び会場周辺に警備上の支障となる要因がある。	△	
		会場エリアとの分離が難しく、会場内及び会場周辺に警備上の支障となる要因が多くある。	×	
②	会場までのアクセス道路の警備体制	アクセス道路(歩道を含む)の整備状況が良好で、交通規制による混雑等の影響がない。	◎	委員要望
		アクセス道路(歩道を含む)の整備状況が比較的良好で、交通規制による混雑等の影響が少ない。	○	
		アクセス道路(歩道を含む)の整備状況が悪く、交通規制による混雑等の影響がある。	△	
		アクセス道路(歩道を含む)の整備状況が悪く、交通規制による混雑等の影響が大きい。	×	
③	より多くの参加者への配慮	ユニバーサルデザインに配慮した施設になっており、運営上、問題ない。	◎	委員要望
		ユニバーサルデザインに配慮した施設になっているが、一部、改良が必要。	○	
		ユニバーサルデザインに配慮した施設になっているが、施設改良が必要。	△	
		ユニバーサルデザインに配慮した施設になっておらず、大幅な施設改修が必要。	×	

No.	項目	評価	(参考) 第1回選定基準との関連性	
≪2 その他の要件≫				
(1) 会場までのアクセス道路の状態				
①	会場までのアクセス道路の状態	アクセス道路の整備状況が良好で、交通混雑等の影響がない。	◎	1-(4) 2-(1)
		アクセス道路の整備状況が概ね良好で、交通混雑等の影響が少ない。	○	
		アクセス道路の整備状況が悪い区間があり、交通混雑等の影響が懸念される。	△	
		アクセス道路の整備状況が悪く、交通混雑等の影響が懸念される。	×	
②	宿泊地から式典会場までの道路における歩道の整備状況	十分な広さのある歩道が整備されている。	◎	2-(1)
		十分な広さのある歩道が概ね整備されている。	○	
		歩道は整備されているが狭い	△	
		歩道が整備されていない。	×	
(2) 大型バス乗降所及び駐車場の配置				
①	大型バス乗降所の配置	施設内に大型バス乗降所が配置されている	◎	2-(2)
		近隣に大型バス乗降所が配置されており、会場までの移動も容易。	○	
		近隣に大型バス乗降所が配置されているが、会場までの移動に時間を要する。	△	
		施設内又は近隣に大型バス乗降所が配置できない。	×	
②	大型バス駐車場(200台程度)、式典運営等関係車両の駐車場(50台以上)を配置できること。	施設内に問題なく駐車場が確保できる。	◎	2-(2)
		施設内又は近隣に駐車場が確保できる。	○	
		近隣に駐車場が確保できるが、会場までの移動に時間を要する。	△	
		駐車場の確保が難しい。	×	
(3) 会場所在市町からの協力体制				
①	会場所在市町(周辺地域を含む)の協力体制	市町や周辺地域から協力を得られることが確実である。	◎	2-(3)
		市町や周辺地域から協力を得ることが容易である。	○	
		市町や周辺地域に対し、協力を要請する必要がある。	△	
		市町や周辺地域からの協力が得られにくい。	×	
(4) 式典会場周辺の環境・景観				
①	式典会場周辺における住宅や高層建築物の有無	全くない	◎	2-(4)
		ほとんどない。	○	
		多少ある。	△	
		多くある。	×	
②	式典会場周辺の景観	会場の周辺が樹木に囲まれており、周辺の景観が良好である。	◎	2-(4)
		会場の周辺が一部樹木に囲まれており、周辺の景観がやや良好である。	○	
		会場の周辺が樹木に囲まれていないが、周辺の景観はやや良好である。	△	
		会場の周辺が樹木に囲まれておらず、周辺の景観は良好でない。	△	

2 評価の方法

各評価ごとに点数を付し、点数を集計して最も高い会場を開催候補地として協議する。

評 価
◎
○
△
×